

海辺の修学旅行プラン

対象：小5～小6 国語 × 算数 × 理科 × 社会

名前：

進め方 ①条件を見つける → ②数で確かめる → ③根拠を組み合わせて判断する

文章を読もう

さくら小学校の6年生72人と先生6人は、海辺の町へ修学旅行に行きます。移動には、運転手を除いて40人まで乗れるバスを2台使います。午前中は町の歴史資料館を見学します。入館料は児童1人450円、先生1人700円で、50人以上の団体は合計金額から10%引きになります。学校が用意した入館料の予算は33,000円です。

午後は干潟で生き物を観察します。その日の干潮は午後1時50分で、安全に観察できる時間は午後1時20分から2時20分までです。コースAは資料館を午前11時50分に出て、昼食後、午後1時35分に干潟へ着きます。コースBは商店街の見学を加えるため、干潟への到着が午後2時35分になります。

干潟へ向かう海辺の橋は、平均風速が15m/s以上になると通行止めです。当日の予報は12m/sです。先生は、観察時間・入館料・バスの定員・橋の安全条件をすべて満たすコースを選ぶよう実行委員に伝えました。なお、昼食代はすでに支払い済みで、今回の予算には含めません。

STEP 1 国語 × 理科 × 社会

干潟を安全に観察できるのは、コースA・Bのどちらですか。到着時刻と観察可能時間を使って説明しましょう。

STEP 2 算数

歴史資料館の入館料は、団体割引後に全部でいくらですか。児童・先生の料金を分けて計算しましょう。
式：

STEP 3 国語 × 算数 × 理科 × 社会

コースAは実行できますか。STEP 1・2に加え、バスの定員と風速の条件を使い、70～100字で説明しましょう。
